

◆ 病院概要

● 開設者名 新潟医療生活協同組合

● 病院長名 佐藤 秀一

● 標榜診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、皮膚科、アレルギー科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、緩和ケア科、麻酔科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科

● 使用許可病床数

	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	312床	278.7人

● 一日平均外来患者数 682.0人

● 医師数 常勤 45人 非常勤 4.5人

● 年間手術件数 1,140件

● 年間出産件数 132件

● 病院併設施設 健診センター、メディカルフィットネスクラブ、病児保育室、院内保育所

● 救急告示病院の指定 有

● 学会指定施設の状況

日本栄養療法推進協議会認定N S T 稼働施設、日本肝臓学会関連施設、日本外科学会認定外科専門医制度関連施設、日本呼吸器学会認定施設、日本産科婦人科学会認定医制度卒業研修指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本静脈経腸栄養学会認定N S T 稼働施設、日本腎臓学会認定研修施設、日本整形外科学会認定専門医研修施設、日本透析医学会認定新潟大学医歯学総合病院の教育関連施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本臨床細胞学会認定施設、マンモグラフィ検診施設



医学生の皆様へ

先輩研修医からのメッセージ

- 新潟大学医学部を卒業し、2018年4月より木戸病院で初期研修を始め、1年9ヶ月が経ちました。木戸病院の医局はコンパクトなので、どの科で研修していても他科の先生にコンサルトしやすいのが特徴だと思います。どの先生方も多忙を極めていましたが、百戦錬磨のベテラン上級医が多く研修医のためにと快く時間を割いてくれます。また若手医師が多くないためか、手技的なものをやらせてもらえる機会が多かったです。

そして意外と重要なポイントだと思うのが、導入されているカルテのシステムがシンプルなので慣れるのが容易で、カルテ操作のストレスが少ないことだと思います。

カリキュラム上、大学病院で半年研修できるのも魅力的で、自分は1か月大学救急科、5か月大学眼科で研修させて頂き、将来の科の選択に役立ちました。

ぜひ見学に来てみてはいかがでしょうか。

- 木戸病院は地域の中核病院としての役割を担っており、多くのcommon diseaseを経験することができます。また各科の垣根がとても低く、どの科を研修していても他科の医師にコンサルトし易い環境が整っています。研修のプログラムの自由度も高く、希望する科の研修を長期間行うことができるのが特徴です。当直は指導医と当直をし、内科当番日は症例数が豊富で非常に勉強になります。ぜひ一度見学に来てみてください。



アットホームな医局には診療科の垣根がないなど、いつでも誰にでも気軽に相談できる雰囲気が当院にはあります。

Access



- お車でお越しの方：新潟駅より車で15分
- 公共交通機関（バス）ご利用の方：万代シティ～新潟駅前～木戸病院～竹尾 線
 万代シティ～新潟駅前～卸会館前～竹尾 線（竹尾インター前 下車徒歩5分）
 新潟駅南口～本馬越～はなみずき～木戸病院 線

照会先
 庶務課 臨床研修担当
 TEL (代) 025-273-2151
 FAX 025-273-8360
 E-mail resident@kido-hp.com

病院見学の受入 随時
 申込方法 お電話もしくはメールにてお問合せください。

研修概要

研修プログラムの目的と特徴 (2021年度研修医)



●目的

新潟市でも3番目に人口の多い東区における急性期医療を担う中核病院として、質の高い医療を地域住民に提供するとともに、医療、保健、福祉といった広範な分野で社会に貢献できることはもちろん、人に慕われる魅力ある人材の育成を目指します。

●特徴

当院は、新潟市東区で急性期医療を担う救急指定病院です。一般的な症例から、高度な診療レベルが要求される疾患まで、多彩な疾病を有する患者さまが来院、入院されますので、プライマリ・ケアから専門的治療まで幅広い臨床例を比較的短期間で効率よく研修することが可能となっています。中でも糖尿病の症例数が豊富で、同じ糖尿病でも様々な事例を学ぶことができます。感染症や癌、心疾患、血管症など救急医療も要求されるほか、重症例にも対応しています。治療中断症例や昏睡例、動脈硬化進行例も数多く集学的治療も必要です。糖尿病とその合併症に精通することで、総合診療の視野と能力を身に付けることが可能です。地域住民の生涯健康管理の支援を最大の任務と位置づけ、健診事業をはじめ、病気になるための予防にも力を注ぎ、慢性疾患通院患者の中から進行がん患者が出ないよう、常にがんの早期発見・早期治療を目指した診療を行っています。その結果、内視鏡による消化器がんの検査・治療件数が多いことも特徴としてあげられます。内科の研修後には神経内科の研修を必修化しています。神経内科は、救急疾患が多い点と生活障害に関連する疾患が多いのが特徴です。脳血管障害は後遺症に直面しうる代表的な救急疾患ですし、認知症は人口高齢化に伴い増加の一途です。診断、治療、生活支援計画、家族への指導など、社会から医師に求められるニーズが大変高まっている分野であります。代表的疾患の理解のみならず、後遺障害、生活障害を全人的にケアできるスキルを初期研修から養っていただきたいと考えています。地域医療研修を行う木戸クリニックでは内科のほか東洋医学を学ぶ事が出来ます。また、石山診療所は在宅支援診療所であり、地域包括医療・ケアの理念を理解し実践できるように、地域医療、在宅医療、高齢者医療を取り巻く情勢について学習、見識を広げ、全人的な臨床能力を身につける事ができます。そのほか、総合内科専門医やICD（感染制御ドクター）によって幅だけでなく厚みをも加えた研修を実現します。

●臨床研修カリキュラムについて

必修分野の内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急に加え、神経内科、整形外科（高齢期医療）を必須科目としました。2年次では24週の自由選択で、希望によって研修する病院も科目も自由に選択することができます。臨床研修を始めるにあたって、研修医と卒後臨床研修管理委員会とが検討・相談をし、スケジュールの調整を計って、個々の研修医の具体的な研修プログラムを作成します。

※基本的な研修カリキュラム（ローテートイメージ）

1年次	内科 26週				神経内科 6週	救急 麻酔科 5週	外科 9週	小児科 4週	整形外科 高齢期医療 2週
2年次	地域医療 4週	精神科 4週	産婦人科 4週	自由選択 24週 (24週は基幹型病院のほか、協力病院の選択も可能)			自由選択 16週 (16週は基幹型病院で必修)		

●協力病院・協力施設

新潟大学医学総合病院、河渡病院、西新潟中央病院、木戸クリニック、石山診療所

●研修医の待遇 (2021年度研修医)

1年次月額	基本給	550,000円
	当直手当	10,000円/回
	住宅手当	45,000円
	通勤手当	—円 ※医師給与規定に準ずる
	月額平均計	635,000円
	賞与	—円
2年次月額	基本給	600,000円
	当直手当	20,000円/回
	住宅手当	45,000円
	通勤手当	—円 ※医師給与規定に準ずる
	月額平均計	725,000円
	賞与	—円

●勤務体制

月～金：8：30～17：00（休憩1時間）
 土（第2・4）：8：30～12：30（休憩なし）
 日直：8：30～17：00
 当直：17：00～8：30

●研修医当直 回数（月平均）4回/月

当直時の勤務体制（研修医以外の当直医数）1人
 （当直研修医数）1人

1年次研修：病院当番医（主日当直医）の指導下で週1回程度、副日当直として研修日当直を行います。原則として救急外来のファーストタッチは行わない。

2年次研修：病院日当直体制に副日当直として組み込まれます。上級医、指導医が当直の際と一緒に当直を行い、必要に応じて指導医のアドバイスを受け、また各科専門医と相談して診療を行う。

※指導体制の確保…救急の指導医とのオンコール体制のほか、主要7科（内科、外科、整形外科、循環器内科、呼吸器内科、小児科、産婦人科）の拘束番医師との連携・指導のもと行う。

●研修医の学習環境

居室 専用の研修医室有。専用の机有。専用のパソコン有。
 図書・文献 24時間利用可能な図書室には、各領域の主要学会誌を含む国内図書約2,500冊、雑誌約120種類、国外図書約200冊、雑誌約30種類を常設、文献検索システム完備
 インターネット環境 個々にインターネット環境有

●研修の宿舎の有無など

宿舎 宿舎は無。民間のアパート・マンションを本人名義で賃貸契約している場合に、住宅手当45,000円（上限）を支給。

食事 院内職員食堂（11:00～15:00）、売店（7:00～19:00）、宅配弁当利用可。近隣に大手スーパー、コンビニエンスストア、飲食店あり。